2013

少年少女里山マイスター養成講座

ＮＰＯ法人徳島県森の案内人ネットワーク

はじめに

現在の青少年育成の課題としては野外での活動や小集団での作業、五感を使うことなどが極端に不足しており、それがコミュニケーション能力の低下また体力や知力にも影響を与えていると思われます。

当法人では、小学校を対象に森林環境教育に 10 年以上取り組んでいますが紙芝居や浸透力実験など室内での講座より野外活動の方が表情の生徒がいきいきとしていると感じていました。

そこで、身近な里山林をフィールドに、樹木の観察や秘密基地づくり、薪わりなどの作業を行うとともにいろいろな遊びを通して、里山の知識や道具を使う技術、そして楽しみ方を身につけてもらう実践的な講座を平成２１年度（2009 年）から始めました。

このような養成講座は、今年度で５年目となりますが、「2013 少年少女里山マイスター養成講座」として、平成 25 年 10 月から平成 26 年３月までの間に６回実施し、その内容をまとめました。

なお、受講生は、小学校１年生～６年生までの 26 名でした。

目 次

講座の開催状況……P1 ～ P6

アンケート結果……P7 ～ p9

感想文……P10 ～ P11

講座の様子……P12 ～ P15

受講生の内訳等……P16

成果と今後の課題……P17

第１回講座

10月6日に、第１回の講座を開始しました。講座の内容は、「森の観察と木登り、クラフト」で、まずは、森に入り、樹皮を触ったり、木を見上げてじっくり観察をしました。それから木登りの体験。高いところも大丈夫。午後はクラフトで、「ぶんぶんごま」づくり。ペイントしたハ角形のスギ材にキリを使って穴を開け、紐を通して完成です。

第２回講座

第２回の講座は、11 月３日「ロープワークと伐採、秘密基地づくり」。ロープワークでは基本的な結び方（本むすびなど）を学び、早速秘密基地づくりに役立てました。結び方を覚えるのは、苦労したようです。そして伐採作業。伐った木は、秘密基地づくりに活用。基地の骨組みを紐で固定してから、飾り付けなどを行い、基地は見事に完成しました。

第３回講座

12 月１日の第３回目は、クリスマスリースとミニ門松づくりで、ドングリや松ぼっくり、赤い実などいろいろな材料を使って、作品ができました。家族にも大好評とのことでした。

第４回講座

１月12日の第４回の講座は、恒例の薪割りとピザ。薪割りは、オノを使った薪割り、薪割り機の使用、チエーンソーの体験でした。 それぞれ危険を伴うものですが、怪我もなく、無事終了できました。オノを使った薪割りが大変好評。

午後のピザづくりは、生地を伸ばしその上に思い切りいっぱいのトッピングをして、ドラム缶釜で焼きました。美味しくできました。

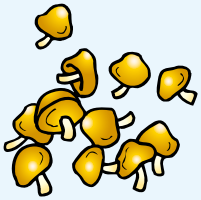
第５回講座

２月２日の第５回の講座は、「ハイキングと環境教育」。入田山人の森をスタートして、尾根まで登り、そこから稜線を西に歩き、童学寺峠で折り返し。全員元気に完歩。道中そして午後からは香川県の井上先生を講師にお迎えし、環境教育をベースとしたゲームのほか植物の観察などを行いました。

第６回講座

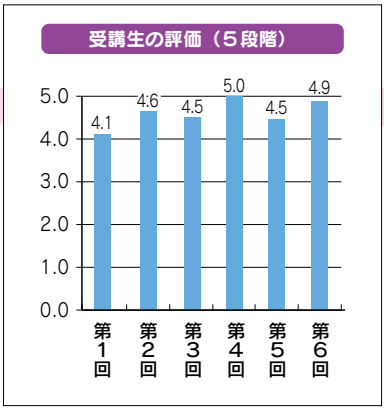
３月２日の第６回の講座は、きのこの植菌作業とバームクーヘンづくりでした。植菌作業は、 原木にドリルで穴を開け、そこに駒型に成形したナメコ菌を打ち込みました。

午後からは、バームクーヘンづくりにチャレンジ。うまく焼けました。

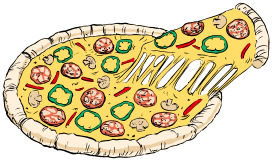


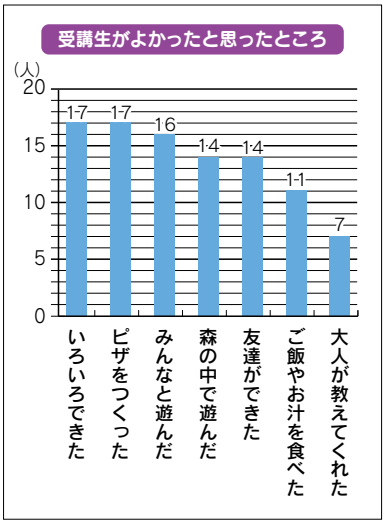
アンケート結果1

受講生（小学１～６年生）26 名のうち、17 名からアンケートの提出がありました。各講座内容の評価（５段階）としては、全て４以上で、中でも第４回の薪割りとピザ、６回のきのこ植菌と野外料理の評価が高かったようです。



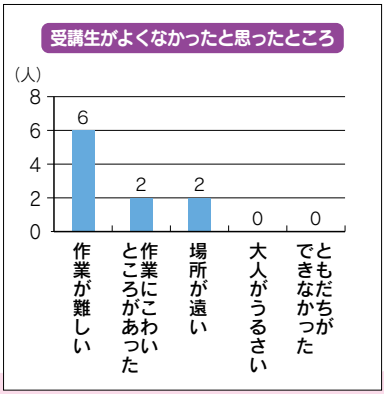
具体的にどのようなところがよかったのか聞いたところ、いろいろなことができたことやピザを作ったことが第１位で、第３位がみんなと遊んだことでした。





一方、良くなかったこととしては、作業が難しかったことで６名でした。ロープワークは苦労していたようです。

また、これからも森の中で遊びたいと思いますか？との問いに対しては、約９割の 15 名が遊びたいと回答しています。



アンケート結果2

受講生（小学１～６年生）の保護者（14 名）からもアンケートの提出がありました。保護者は、一緒に参加されておりませんが、受講生の反応などから判断してもらいました。

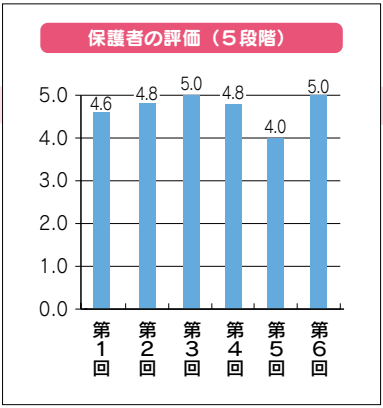
各講座内容の評価（５段階）としては、すべてほぼ４以上ですが、第３回のクリスマスリースやミニ門松の評価も高いのが受講生との違いでしょうか。

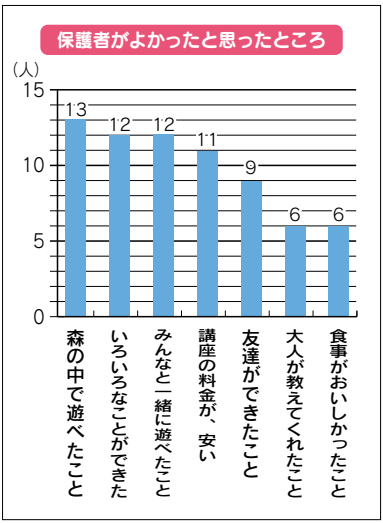
具体的にどのようなところがよかったのか聞いたところ、森の中で遊べたことが第１位で、第２位がいろんなことができた、みんなと一緒遊べたこと、第４位が安い料金の順でした。

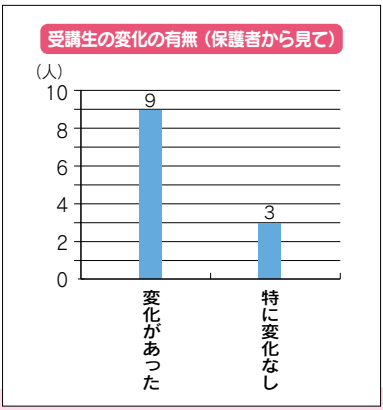
一方、良くなかったこととしては、ほとんどありませんでした。

また、受講前と受講後に子供に変化があったかとの問いに対しては、６割強の方が変化ありとの回答で、しっかりしてきた、自然に興味を持つようになった、いきいきと話をしたなどの反応だったとのことでした。

今後もこのような講座に参加させたい、機会あれば参加させたいとの意見が、全員からありました。







アンケート結果3　（保護者のコメント）

受講後に変化があった。その内容は

・今までより更に自然に興味を持ち、草や木や花、虫や動物をよく見てなにか見つけたり気づいたりできるようになったと感じます。
・外で遊ぶ楽しさを覚えた。
・木の葉の話しをするようになった。
・森に興味をもつようになった。
・みんなと協力することや自分で作ったり採ったりする自主性が身に付いたと思います。
・友達づくりが上手になった。
・山に登った時、５回目で勉強した自然の木、人工的な木の話しを妹にしていた。きのこ（しいたけ）が食べられるようになった。

そのほかの感想

・日々、少年少女里山マイスター養成講座のような活動を探していました。参加でき、子供も毎日「今日は、こんな事があり楽しかった。」と話してくれていました。いつもは時間に追われ、ゲームにテレビに。自然にふれるこの講座に参加させて頂き、本当によかったなと思います。スタッフの方々に感謝です。
・お世話になりました。たくさんの思い出に残る講座を受けることができ、毎回子どもたちが興奮して帰ってきて話してくれるのがとても嬉しかったです。
・私では教えられないような里山の自然の知識にたくさんふれられたこと、親と離れて活動したことです。

感想文

1

講座を受けて

6年 大寺

最初は友だちができるか不安だったけれど、同じ1班の子が、

「一緒にやろう。」

と声をかけてくれて、友だちになれました。その後も、一人二人と友だちがふえて、最終的に10人ぐらい友だちができました。

講座のほうも始めは「どんなことをするんかな。」「大丈夫かな。」と思ってきんちょうしていたけれど、ロープを使ってむすび方を教えてもらったり、木のぼりをしたりしてとても楽しかったです。教えてくれる人もやさしくてとても話しやすい人でした。

一番心に残り、楽しかったのは、どれも良かったけど、やっぱりバームクーヘン作りです。一番最後にやったから心に残っているのではなく、みんなで力を合わせて作ったからです。あれは、竹のぼうを回す人と生地をかける人の心が一つにならないときれいにできないと思います。そして、できたバームクーヘンはきちんと丸くなっていて、年輪ができていました。味も最高においしくて、少しもって帰りました。もう終わりでみんなと遊べなくなるのはさみしいけれど、森でいろいろ学んだり、みんなで力を合わせて作ったりした経験はとてもいい思い出です。本当に6ヶ月間楽しかったです。ありがとうございました。

「里山マイスターにさんかして」

一年 つゆ口

ぼくは、まいかいバスにのって里山にいきました。あさ早くおきてじゅんびをするのは大へんだったけどバスの中でともだちができてたのしかったです。ぼくがとくにたのしかったことはひみつきちづくり、木のぼり、バームクーヘンづくりとピザづくりです。森の中でたべたおべんとうやとんじるやピザやカレーライスはとびっきりおいしかったです。

ざんねんだったのは、一かいお休みしたことです。ハイキングにはいけませんでした。

天気がよくない日がおおくて、ドロドロになったけれどサバイバルなかんじがしました。いろいろなかつどうができておもしろかったです。スタッフのみなさんありがとうございました。またさんかしたいです。

「里山マイスターにさんかして」

二年 長尾

ぼくは里山マイスターにさんかするのは、二回目でした。第一回と第二回は行けなかったのがざんねんでした。

一番楽しかったのは、まきわりとピザ作りでした。ぼくはピザが大こうぶつです。みんなといっしょに作って、外で食べたのでよけいにおいしかったです。まきわりはちょっとむずかしかったけどきょ年よりうまくなったと思いました。

クリスマスリースとミニかどまつは、家ぞくみんながよろこんでくれました。とてもうれしかったです。

もって帰ったしいたけは、きょ年ぼくたちがしょっきんしたしいたけなのかなと思いました。家ぞくみんなでおいしく食べました。

またさんかしたいです。

感想文

2

里山マイスターよう成こうざに参加して

小二　すずえ

里山マイスターよう成こうざが終わりました。ぼくは「次はどんなことを教えてもらえるのかなあ。」と毎月楽しみにしていました。

一番思い出に残っているのは、十一月のひみつきち作りと三月のバームクーヘン作りでした。

ひみつきち作りでは、ロープむすびを教えてもらったあと、きちに使う木を切り、やねやかべにするえだや葉をさがしました。ぼくは、のこぎりを使ったことはあるけれど、地めんに生えた木を切るのは初めてでした。なかなか同じところが切れずにむずかしかったです。あん内人のおじさんがほね組を作りを手伝ってくれ、それにロープをまいて、細いえだや葉をあみこみました。きちの中は、暗くて、子どもが三人くらい入れそうでした。こぼんの人は、ぼくたちのきちがどこにあるのか分からなかった。だから大成功だと思いました。

バームクーヘンは、どんなふうにして作るのか知りませんでした。竹にバームクーヘンのもとをたらして、焼いてまたたらして焼いて…と何回もくりかえしました。バームクーヘンのもとをなるべく火の上に落とさないように回すのがむずかしかったです。できあがったら、本当に輪ができていてうれしかったです。味もとてもおいしくてふかふかで、小さくちぎって味わってたべました。

このこうざでぼくは、森の中ではいろいろな楽しいことがあることがわかりました。友だちや案内人のおじさんやおばあさんと活動したのも、家でくとするのとはちがう楽しみでした。ぼくは、来年も参加したいと思いました。

里山マイスターにさんかして

二年　市原

ぼくは里山マイスターでともだちができてうれしかったです。山ではくりやくさがありました。ともだちとおにごっこをしたりしていました。ともだちとなかよくできてよかったです。バスを山のうえまでみにいったりしてたのしいバームクウヘンやピザやしるやいろいろなものをたべてうれしいしとても山はおもしろいなとおもったしへびとかでるかなとおもったけど、ぜんぜんでてきませんでした。

またつかいきたいなとおもっています。みんなでおにごっこやいろいろなうんどうができるといいとおもいます。また里山にさんかしたいです。

一年

わたしは、ともだちのいっぱいできました。ともだちがいっぱいできてうれしかったです。わたしがいちばんこころにのこったのは、バームクーヘンづくりです。竹のぼうにバームクーヘンのもとをのせてくるくるまわしたのがたのしかったです。おかあさんにたべてもらうとおいしいなといってくれました。ピザづくりをしたことでいちばんたのしかったのは、きじをのばしたりしてたのしかったです。

山のぼりはさいごの日です。山からみてだけしきがきれいだなと、おもいました。また、ぼうけんであそ。たけのみたいなのでいです。すして、もっと、ともだちを、つくりたいです。わたしがさと山でいちばんたのしかったのは、きのこのことです。どうしてかというと、ドリルで木に、あなを、あけたり、とんかちで、きのこをうえたり、したのがたのしかったです。またいきたいです。ほんとうにたのしかったです。またいきたいです。

講座の様子 1

講座の様子 2

講座の様子 3

講座の様子 4

講座の時間割

9:30～ 9:50	オリエンテーション
9:50～10:40	ロープワーク
10:40～11:50	伐採作業
12:00～12:50	昼食
12:50～14:30	秘密基地づくり
14:30～15:00	ふりかえり・解散
15:00～16:00	片づけ、ミーティング

第２回ロープワーク、秘密基地づくり

作業状況

受講生の内訳

学年別・男女別人数

区分	学年						
	1	2	3	4	5	6	計
男	1	7	3	4	0	0	15
女	1	0	1	5	3	1	11
計	2	7	4	9	3	1	26

住所別人数

区分	徳島市	北島町	松茂町	石井町	阿南市	藍住町
人数	15	4	3	2	1	1

□　受講生の男女比は、前回と同様に 58%：42% でした。学年としては２年生と４年生が多く、高学年（５～６年生）が少ない状況でした。

□　受講生は、徳島市からの参加が最も多く、近隣の北島町、松茂町、石井町の順となっています。

講座の成果

受講生の当日の反応やアンケート結果から、この講座は、今年度もまずまず好評であったと推測しています。

本講座も５年目となりましたが、受講生は入れ替わりとなりますので、毎年、反応も様々です。

里山の中での遊びや作業を通じて子どもたちが本当に楽しそうに、そして生き生きとした表情をしていたことなどを実感しました。このことは、会員の活動意欲の向上や自信にもつながっています。

今後の課題

課題としては、①講座内容の充実、②スタッフの確保。③保護者参加講座の検討などがあります。

今後も、しっかり打ち合わせて行いながら、より充実した講座を継続して行っていきたいと思っています。

「森の案内人ネットワーク」とは、

森林での自然観察やレクリエーションの指導、森林のしくみや働きの学習、森づくりボランティアを行う人の仲間です。
設立のきっかけは、徳島県が開催した「森の案内人養成講座」で、その受講生などが主なメンバーですが、
活動の主旨に賛同される方を広く募っています。

連絡先（事務局）　088－655－1566

この事業は、緑と水の森林ファンド事業を活用しています。